「みんなで教振！5か年プラン」（H27～H31）

「みんなで教振！5か年プラン」とは、平成27年度から5年間、全県共通課題と地域の教育課題の解決に向けて、両者の取り組みを有機的に連動させながら推進することを通して、教育振興運動の基本理念に基づいた運動の一層の活性化を図ろうとするものです。

「全県共通課題」と「地域の教育課題」の２本柱

「全県共通課題」

「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組む意義

◇情報技術の進歩により、スマートフォンやタブレットパソコン等の新たな情報ツールが次々と普及していること。
☆情報機器や通信技術は、情報の入手や発信など、多くの人々とコミュニケーションをとる便利な面があること。
★情報機器の使い方によっては人の心を傷つけたり、犯罪や事件に巻き込まれてしまう等の危険性も備えていること。
★情報メディアは学力や体力の向上、基本的な生活習慣等の様々な面にも影響を与えることが懸念されること。等

「情報メディアとの上手な付き合い方」の5か年プラン

- 周知啓発、取組奨励、実態把握
- 先進的事例の紹介、実践の充実
- 取組の共有化、改善点の検討・修正
- 修正改善後の取組実践、評価分析
- 5か年のまとめ、今後の取組の方向性

全県共通課題と地域の教育課題を有機的に連動させることによる自主的な運動の推進

全県共通課題
「情報メディアとの上手な付き合い方」

有機的連動

地域の教育課題
「学力向上」「健全育成」「健康安全・体力向上」「復興教育」等

取組ポイント

5者の連携
関係機関との連携
活動の支援

取組ポイント

情報メディアとの上手な付き合い方
☆メディアの特性の把握（機器、機能等）
☆情報モラルの学習
☆メディアが及ぼす影響
☆大人の学びの促進
☆利用の約束、等

有機的連動

多様な体験・交流活動等
☆家庭学習、読書活動
☆社会参加活動、自然体験
☆郷土芸能、文化活動
☆生活・健康、体力づくり
☆世代間交流、勤労体験
☆スポーツ活動、等

情報メディアとの上手な付き合い方の確立　＋　多様な体験、交流活動等

「情報メディアとの上手な付き合い方」を身につけるためには、多様な体験・交流活動等と組み合わせて取り組むことにより、身のまわりには、情報メディアとは違う楽しく有意義なものがたくさんあることに気づくことが大切である。

- ・多様で変化の激しい社会を生き抜く力の育成
- ・大人の学びが子どもの学びに生かされる地域社会
- ・地域の教育課題解決にむけて地域ぐるみで取り組む地域社会

「地域の教育課題」

「学力向上」「健全育成」「健康安全・体力向上」「復興教育」等に取り組む意義

◇これまで各市町村実践区等で取り組まれてきた地域の教育課題の更なる充実を目指すものであること。
◇「10か年プロジェクト」の取組により、組織の見直し、周知や理解の促進、役割の明確化が図られ、多くの成果が得られたこと。
◇見直した組織や手法を生かして、運動の原点に立ち返った取組の推進を図ること。
◇残された主な課題及び新たな地域の教育課題を取り上げ、その解決に向けて主体的、自主的な運動の展開を図ること。等

「学力向上」「健全育成」「健康安全・体力向上」「復興教育」等の5か年プラン

- 周知及び実態把握、重点取組の奨励
- 重点取組の検討、実践の充実
- 取組の共有化、改善点の検討・修正
- 修正改善後の取組実践、評価分析
- 5か年のまとめ、今後の取組の方向性